

アルプス花街道通信



平成 30 年度 VOL .2 (7 月)

アルプス花街道活動区画の巡視を行います！！

アルプス花街道実行委員会理事により、本年度の全植栽区画の巡視を下記の日程で行いますので皆さまにもお知らせいたします。各区画の生育状況や管理状況等を確認します。

本年度実施している市内9か所では、それぞれの区画でオレンジ色のマリーゴールドがいっぱい咲き、街道沿いをとてもきれいに彩っている様子が見られます。長い期間楽しめるよう、引き続き生育管理をお願いします。

(巡視の日程について)

日程：8月6日(月) 午後1時30分から

参加者：アルプス花街道実行委員会 理事及び事務局



マリーゴールドの食害について

今年度、葉の軸だけを残して葉を全て食べつくされている様子がいくつかの区画で確認されています。その原因について、現在未確認ではありますが、インターネットで調べたところ、主に「ナメクジ」もしくは「ヨウトウムシ」の食害である可能性が高いことがわかりました。対策等についてまとめましたので、参考にしてください。

害虫名	ナメクジ	ヨウトウムシ
概要	春と秋によく出てきます。日中は石の下や落ち葉の下に隠れています。夜に這い出てきて活動して食害します。雨の日には昼間にも活動します。	蛾の幼虫。ヨウトガ、ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウの幼虫です。春から秋にかけて発生し、夜間に活動して草花を食害します。
症状	●食害された部分は不規則な跡が残る。 ●這いまわった後には粘液(白く光った跡)が残る。	●食欲が旺盛で、一夜にして葉脈だけになってしまうことがあります。 ●ふ化したばかりの幼虫は葉裏だけを食べるので、葉全体がかすり状になります。
予防	●レギュラーコーヒーの残りかすを撒く。 ●ビール又は米のとぎ汁を容器に入れて置いておき、誘引して捕殺します。	●葉の上にフンが見られるので、株元の土の中、葉裏にいないか確認し、見つけ次第捕殺します。
対応	●薬剤を使用。	●薬剤(オルトラン)の散布など。

熱中症には十分に注意して活動してください！！

恵の雨を願っているものの雨が降る様子がありません。苗の活着後、水やりは自然の雨に任せておけばそれほど生育に影響は出ませんが、それぞれの区画で生育状況をご確認いただき、葉が包まっているなど水分不足の様子が見られたら適時水やりをお願いします。



また、区画によっては除草が必要な箇所が見受けられます。除草剤やビーバー等の資機材を貸し出しておりますので、使用する場合は事務局補佐までご連絡ください。

ただし、今年は記録的な猛暑が続いています。活動の際には日中の日差しが強い時間はできるだけ避け、水分補給を十分に行い、決して無理をしないようお願いいたします。

アルプス花街道実行委員会のホームページをご覧ください！

前回の通信（VOL. 1）でお知らせいたしました、アルプス花街道事業のホームページを公開しています。

ホームページでは、団体の皆さんから寄せられた写真とメッセージを掲載しています。

是非、ご覧ください。

※未提出の団体におかれましては、是非ご提出をいただき、団体のPR等にご活用ください。



ちょこっとコラム（マリーゴールドの花言葉）

マリーゴールドの花言葉は「悲しみ」「可憐な愛情」「変わらぬ愛」「生命の輝き」「信頼」などと言われていますが、特に黄色い花は「健康」、オレンジの花は「予言」とのこと。ネガティブな意味とポジティブな意味が混在しており、ネガティブな意味は黄色を嫌うキリスト教圏の文化からきていて、ポジティブな意味はギリシャ神話の太陽神「アポロン」の象徴としてのイメージからきていていると言われています。

【アルプス花街道実行委員会事務局】（事務局補佐）〒399-8281 安曇野市豊科 6000 番地
事務局長：若松 榮 安曇野市役所 地域づくり課 担当：金子
事務局次長：平倉 秀一 電話：71-2494（直） FAX：72-3176